



サイエンスカフェ 「微生物のチカラ」

今回は、微生物を用いた研究を専門に行っているお二人の講師の先生方にお話し、身近にいる微生物の驚くべき働きについてお話をして頂きます。

日時：平成24年2月12日（日）15：00～17：00

場所：JR博多シティ会議室（I+J室）（10F）

(<http://www.jrhakatacity-eventspace.jp/meetingroom/index.html>)

講師：竹川薫（九大）「生体内における糖鎖の多様な役割と微生物」

酒井謙二（九大）「見えないけれど見えないところで働いている微生物たち」

定員：30名程度

連絡先：片倉喜範（九大）Tel: 092-642-3050,

E-mail : katakura@grt.kyushu-u.ac.jp

環境 environment

- バイオ電池で、プロペラが回る
- とうもろこしから生分解性プラスチック
- グリーンケミストリー微生物で有用物質生産
- 環境探査船「ちきゅう」

医療、健康

- 抗生物質をつくる放線菌
- カビが生産するコレステロール生合成阻害剤(動脈硬化の薬)
- 胃潰瘍の原因、ピロリ菌を抑える乳酸菌を含むヨーグルト
- 遺伝子工学でホテルの光が赤くなる
- 化粧品にも農芸化学の技術
- 体に無害な殺虫剤を含む蚊帳で、多くの命を救う
- すてきな香料も分子がいのち
- 青い色素を人工的に作らせたバラ

生命 life

生活

食糧 food

- 花粉症対策米
- 環境にやさしい害虫駆除
- 辛いのに、脂質を減らす唐辛子
- 機能性食品(トクホなど)*
- 食品は農芸化学から
- 伝統から最先端の醸造食品製造

農芸化学とは

農業？ 芸術？ 化学？ ちょっと耳なれない四字熟語かもしれませんが。

農芸化学とは、動物・植物・微生物の生命現象、生物が生産する物質、食品と健康などを、主に化学的な考え方に基づいて基礎から応用まで広く研究する学問分野です。身近な農業生物や農産物の研究を端緒として100年前に生まれた分野ですが、今や「バイオ技術」の主役として生活や環境のあらゆることに貢献しています。

こんなキーワードも、農芸化学!!

グリーンケミストリー、生分解性プラスチック、バイオエタノール、内分泌攪乱物質、ピオトープ、アグリビジネス、バイオインフォマティクス、DNAチップ、ナノバイオ、クロン化技術、プロテオーム、免疫工学、ポストゲノム、プロバイオティクス、アレルギー対応食品、生活習慣病、機能性食品、遺伝子組み換え植物

*写真提供: 日経バイオ